

在セネガル日本国大使館月報

2025年10月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 25日、ソンコ首相は、11月8日に、国家(18か月を経ての振り返り)・政治・与党自身(PASTEUF)に関する大規模な党集会を開催すると発表。(25日 Le Soleil)

(外政)

- 17日から19日、ファイ大統領はルワンダを訪問し、カガメ大統領と会談のうえ、ビザ免除、開発、農業、保険、刑罰の分野に関する5つの協定に署名した。(19日 Le Soleil)

(日本関連)

- 10日、サール経済・計画・協力大臣と赤松武駐セネガル大使は、「セネガル日本職業訓練センター・ジャムニャージョ分校(CFPT-SJ)建設計画」及び「経済社会開発計画」(農業関連機材(トラクター、精米機等)の供与)に合計37億円(約140億 FCFA)の無償資金協力を署名した。(経済・計画・協力省 HP)

(経済)

- 23日、サール経済・計画・協力大臣は、エドワード・ジェマイエル氏率いる国際通貨基金(IMF)の代表団を迎え、新たな融資プログラムの概要、セネガルのマクロ経済枠組みおよび中期的な経済見通しについて協議。

ガーボベルデ

- 27日、モンテイロ外務・協力・地域統合大臣兼共同体大臣は、健康上の理由から退任を表明。(27日 Expresso Das Ilhas)
- 30日、ネーヴェシュ大統領は、ジョゼ・ルイス・リヴラメント駐米国カーボベルデ大使を外務・協力・地域統合大臣兼共同体大臣に任命。(30日 大統領府Facebook)

ガンビア

- 独立選挙委員会(CEI)のジョセフ・コリー委員長は、ガンビア大統領選挙が2026年12月5日に実施されると発表(13日 The Point)

ギニアビサウ

- 最高裁判所は、11月23日の大統領選挙に出馬が認められた候補者12名(エンバロ現大統領を含む。)の公式リストを発表。(20日 Afrique7)

セネガル

(内政)

内政一般

- 4日、元ダカール市長でタハウ・セネガル党首のハリファ・サル氏は、2026年1月の議会で政党を再編すると発表。(6日 Le Soleil)
- 25日、ソンコ首相は、11月8日に、国家(18か月を経ての振り返り)・政治・与党自身(PASTEUF)に関する大規模な党集会を開催すると発表。(25日 Le Soleil)

- 25日、サール元保健大臣によるルネサンス共和党が正式な登録証を受理。同党は、労働、平等、協力、卓越に基づいたよりよいセネガルの構築を目指す。(29日 Le Soleil)

(外政)

二国間・多国間関係

- 17日から19日、ファイ大統領はルワンダを訪問し、カガメ大統領と会談のうえ、ビザ免除、開発、農業、保険、刑罰の分野に関する5つの協定に署名した。(19日 Le Soleil)
- 11月6日から7日にかけて開催される国連気候変動枠組条約第30回締約国会議(COP30)を前に、ダニエラ・シャヴィエル駐セネガル・ブラジル大使は、同紙インタビューで両国関係は極めて良好と評価。(25日 Le Soleil)
- 30日、ソンコ首相はECOWAS 委員会チンチビジア副委員長を迎えた会談で、早期警戒・対応センターの進捗状況について議論した。(31日 Le Soleil)

日本関連

- 10日、サール経済・計画・協力大臣と赤松武駐セネガル大使は、「セネガル日本職業訓練センター・ジャムニャージョ分校(CFPT-SJ)建設計画」及び「経済社会開発計画」(農業関連機材(トラクター、精米機等)の供与)に合計37億円(約140億 FCFA)の無償資金協力を署名した。(経済・計画・協力省 HP)

(経済)

経済一般

- 7日から8日、投資フォーラムが開催され、開会式でファイ大統領が経済・社会開発に向けた持続的パートナー関係を構築するよう投資家らに訴えかけた。1兆3200億 FCFA 以上の投資が表明された。(9日 Le Soleil)
- 10日、格付け会社 Moody's は、債務の持続可能性と流動性リスクの悪化を理由に、セネガルのソブリン格付けを B3 から Caa1 に格下げし、見通しを「ネガティブ」とした。今年に入ってから2回目の格下げとなる。(13日 Le Soleil)
- 23日、サール経済・計画・協力大臣は、エドワード・ジェマイエル氏率いる国際通貨基金(IMF)の代表団を迎え、新たな融資プログラムの概要、セネガルのマクロ経済枠組みおよび中期的な経済見通しについて協議。

(社会)

- 2日、保健省は、サン・ルイ地方で56件のリフトバレー熱の感染56件(うち死亡8件)が確認されたことを公表。エムボックス5件(死亡0)も同時公表。(3日 Le Soleil)
- 国防省と国民教育省は、若者の市民権と社会参画意識を強化するプロジェクト「WAAJAL XALE YI」を開始。(20日 RTS)

(文化・スポーツ)

- 14日、サッカー・セネガル代表チームは、ワールドカップ2026のアフリカ最終予選にて、モーリタニアに勝利し、ワールドカップへの出場を決めた。(15日 Le Soleil)
- 18日、サッカー・セネガル代表チーム(U17)は、バマコで行われた決勝でマリを 2-0 で下し、UFOA/A U17 トーナメントで2年連続の優勝。(20日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 10日、大阪・関西万博にてカーボベルデのナショナルデーが開催された。政府を代表してサントシュ海洋大臣が出席。(10日 外務省Facebook)
- 10日、東京で日本・カーボベルデ経済フォーラムが開催され、サントシュ海洋大臣が出席。(10日 海洋省Facebook)
- 13日、サッカー・カーボベルデ代表チームは、ワールドカップ2026の出場権を獲得した。ワールドカップへの出場は初となる。(28日 Expresso das Ilhas)
- 27日、カーボベルデ政府とJICAの間の協力案件であるサンティアゴ島上水道システム整備事業の契約式が執り行われた。本案件は上下水道公社(ANAS)及び豊田通商により実施される。(27日 Expresso Das Ilhas)
- 27日、モンテイロ外務・協力・地域統合大臣兼共同体大臣は、健康上の理由から退任を表明。(27日 Expresso Das Ilhas)
- 28日、カーボベルデ独立アフリカ党(PAICV)クロヴィス・シルバ議会代表は、議会会期の成果に関する記者会見で、政府が2015年以降エネルギー分野の戦略的計画が滞っていることを批判した。(28日 Expresso das Ilhas)
- 30日、ネーヴェシュ大統領は、ジョゼ・ルイス・リヴラメント駐米国カーボベルデ大使を外務・協力・地域統合大臣兼共同体大臣に任命。(30日 大統領府Facebook)
- 30日、サントス海洋大臣は、サント・アンタン島を訪問し、同島に3つの多目的埠頭を建設するための調査が進行中であること、既に資金調達が保証されていると発表。また、ノヴォ港の拡張計画と観光・インフラの運用能力強化を表明。(31日 Opais)
- 31日、カーボベルデ政府は「国家食料・栄養安全保障・持続可能な食料システム戦略2035」を発表し、食料安全保障の分野での行動計画の主な方向性を示した。(31日 Balai Cabo Verde)

ガンビア

- 在ガンビア中国大使館は、ガンビアでの査証発給サービスを開始した。これまでは中国への渡航希望者は在セネガル中国大使館まで出向かなければならなかった。(8日 The Point)
- 独立選挙委員会(CEI)のジョセフ・コリー委員長は、ガンビア大統領選挙が2026年12月5日に実施されると発表(13日 The Point)
- 政府は、ヤヤ・ジャメ前大統領のガンビア帰国の決断(11月)を歓迎する一方で、同氏がバンジュールに到着次第、通常の法的手続きが適用されると発表。(28日 The Standard)

ギニアビサウ

- 10日、ギニアビサウ人口社会統計局長兼貧困研究コーディネーターのメンデス氏は、2021年のギニアビサウの絶対的貧困率が50.6%であったことを公表。(11日 Radio TV Bantaba)

- 最高裁判所は、11月23日の大統領選挙に出馬が認められた候補者12名(エンバロ現大統領を含む。)の公式リストを発表。(20日 Afrique7)
- ピント・ペレイラ外務大臣は、7人の新任大使(モーリタニア・シエラレオネ・アルジェリア・ベルギー・ナミビア・イスラエル・インドネシア)から信任状を接受した。(20日 外務省HP)
- エンバロ大統領は、欧州連合(EU)サヘル地域特別代表ジョアン・ゴメス・クラヴィーニョ氏と会談し、サヘル地域の安全保障に関する課題、西アフリカ諸国に対するEUの支援の可能性について議論した。(28日 大統領府Facebook)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの「報道」を当館限りでまとめたもの。

(了)